

復 命 書

令和 6年 11月 11日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	前原 和幸
研修会名等	県議長会主催議会広報研修会
期 間	令和 6年 11月 7日(木)
内 容	<p>演題:「議会広報紙 企画と編集の基本」講師:一般社団法人自治体広報公聴研究所 代表理事・広報アドバイザー 金井 茂樹 氏</p> <p>1.広報公聴の目的 (1)協同による課題解決(2)市民セクターの活動(3)政府セクターの活動 (4)議会の広報広聴活動(5)広報公聴とは(6)意識・行動変容とは (7)伝わる議会報(8)議会報づくりの枠組み(9)広報公聴の全体</p> <p>2.議会報の課題 (1)議会報の変遷(2)目指す議会報(目標)(3)目標と課題</p> <p>3.議会報の企画 (1)目的の明確化(2)素材の収集</p> <p>4.議会報の編集 (1)情報の構造化(2)情報の表現</p>
所 感	<p>市民(町民)生活は、市民(町民)セクターと政府セクター(議会・行政)と起業セクターの三者による「政策セクター」の協働により地域の課題解決を行い、より良い地域社会、持続可能な社会共生社会を実現している。その市民(町民)の声を把握し、課題の情報を収集することが必要不可欠である。広報広聴の定義は、自治体と市民双方の意識・行動変容を促進し、関係づくりを図らねばならない。人が、認知し、関心を持ち、検索し、理解し、共感することが行動変容につながる。自治体(行政・議会)は、発見、気づき、理解、問題意識、共感、寄り添いによって意識・行動変容を行う。議会広報においては、何を伝えるか、どうなってもらいたいのかを企画時の目的とし、素材の収集に当たらねばならない。また編集の際には、どのように組み立てて、どのように表現するかが大切である。自分の町の広報誌においては、その基本理念を作成し、町民に理解していただけるように作らねばならない。また、課題解決のために何かから解決すべきか、いつまでに解決すべきかが重要であり、そのことが紙面の改善につながると考える。住民の声と情報を集めねばならない。</p>
添付資料	

復 命 書

令和6年11月 7日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	松元 健作
研修会名等	県議長会主催議会広報研修会
期 間	令和6年11月7日（木）
内 容	<p>「議会広報紙 企画と編集の基本」 一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザー 金井茂樹氏</p> <p>1、広報広聴の目的 2、議会報の課題 3、議会報の企画 4、議会報の編集 についての講演が行われた</p>
所 感	<p>今回の研修を受け改めて議会報の大切さを知る機会となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報広聴とは町民との関係づくりである。 ・広報広聴を行うことにより、町民の意識・行動の変容が生まれる。よって、伝わる議会報の作成が開かれた議会の情報伝達ツールとしてとても重要である。 ・何を伝えるか、どのように組み立てるか、どうなってもらいたいのか、どのように表現するかを念頭に置き作成する。 ・読みやすく見出しで内容がわかるような工夫をする。 <p>などに留意し今後の広報誌作成に活かし、取り組んでいこうと思う。</p>
添付資料	

復 命 書

令和6年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	宮後 竜一
研修会名等	県議長会主催 議会広報研修会
期 間	令和6年11月7日(水)
内 容	体調不良により欠席
所 感	
添付資料	

復 命 書

令和6年 11月 13日

	議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	吉原 光
研修会名等	県議長会主催議会広報研修会
期 間	令和6年11月7日(木)
内 容	<p>「議会広報 誌企画と編集の基本」 一般社団法人自治体広報公聴研究所 理事・広報アドバイザー 金井 茂樹 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報広聴の目的 2. 議会報の課題 3. 議会の企画 4. 議会報の編集 5. 議会報クリニック・5紙 6. 議会報クリニック・8紙 7. まとめ
所 感	<p>広報広聴の目的は、自治体(行政・議会)と住民双方の意識・行動変容を促進し、両者の信頼・協働関係を構築・維持することである。住民側の意識・行動変容とは、広報誌で関心を持ち、検索等行い、理解、共感、行動するというプロセスであり、自治体側の意識・行動変容とは、業務での住民との対話や調査等より、発見や気づき、理解、問題意識、共感、寄り添いといったプロセスをいう。政策形成や課題解決には、情報を受け取った人が変わるという意識・行動変容が大切である。</p> <p>目指す議会報として、こんな議会報を作りたいといった委員会における目標の共有、評価、そして改善といったプロセスが大事である。住民に議会報に関心を持ってもらうために、地域の課題を伝えること、広聴活動として住民の声を共有・活用するといったことも必要である。そして、それが住民の参加・行動となり、自治体もしくは住民の課題解決に繋がる。ここで重要なことは、やはりいかに議会を含め議会報に関心を持ってもらうか、ということに尽きると考える。</p>
添付資料	なし

復 命 書

令和6年11月7日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	恒吉智彦
研修会名等	県議長会主催議会広報研修会
期 間	令和6年11月7日(木)
内 容	<p>「議会広報紙 企画と編集の基本」 講師 一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザー 金井茂樹氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報広聴の目的 2. 議会報の課題 3. 議会報の企画 4. 議会報の編集 <p>・議会報クリニック(町村議会5紙)・(市議会8紙)</p>
所 感	<p>○ 広報広聴の目的は、自治体(行政・議会)と市民(住民)の双方の意識・行動変容を促進し、両者の信頼・協働関係を構築・維持すること、すなわち関係づくりに努め、より良い地域社会の実現に寄与する事にある。</p> <p>○ 市民参加の紙面づくり、議会に対し「よらの声」を多く掲載する。</p> <p>○ 読みやすい紙面づくりに努め、用字・用語は「記者ハンドブック」を活用する。行政用語や、議会用語はなるべく使用せず、に言い換えや注釈を以て補完することとあったが、本町でも常に心掛けてやっている。中身全体について感じた事は殆どが以前、肝付町に招いて研修を受けた事と同じ様であったが、資料は具体的な表現だったように思う。改めて、広報紙の目的について再認識した研修だった。今後に生かしたいと思う。</p>
添付資料	

復 命 書

令和6年11月7日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	富 永 洋 一
研修会名等	県議長会主催議会広報研修会
期 間	令和6年11月7日(木)
内 容	<p>「議会広報紙、企画と編集の基本」 <small>本報アドバイザー 金井茂樹氏</small></p> <p>① 広報広聴の目的 ② 議会報の課題 ③ 議会報の企画 ④ 議会報の編集</p>
所 感	<p>・ 議会活動の広報は市民の声をどう政策に生かす解決していくか、そのための地域課題を得るため議会と市民の協働が必要。</p> <p>・ 企画として目的、素材等目的をもちて収集が必要と感じる。</p> <p>・ 読みやすく、わかりやすい紙面にすることが配当が検討する必要が感じられた。</p> <p>※ 研修のあり方として議会広報紙を参考に世に出る配当が ※ 今年での研修と重複する題材もあり新鮮感を感じなかった。</p> <p>(課題) 肝付町議会報と読みやすくはる広報に必要のため議会運営(誌)向けの広報ではなく中広く各地域等の課題や行事等広報する</p>
添付資料	なしと考之る。

復 命 書

令和6年 月 日

議長	局長	次長	係長

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	柳 一夫
研修会名等	県議長会主催議会広報研修会
期 間	令和6年11月7日(木)
内 容	<p>①議会広報紙企画と編集の基本(演題)</p> <p>講師 一般社団法人自治体広報・広聴研究所 代表理事 広報アドバイザー 金井茂樹氏による講演</p>
所 感	<p>広報・広聴の目的、議会報の課題、 議会報の企画、議会報の編集と 広聴と裁の区、今後の我々の議会広報に力せよ と考へ大変興味深いものがある</p>
添付資料	